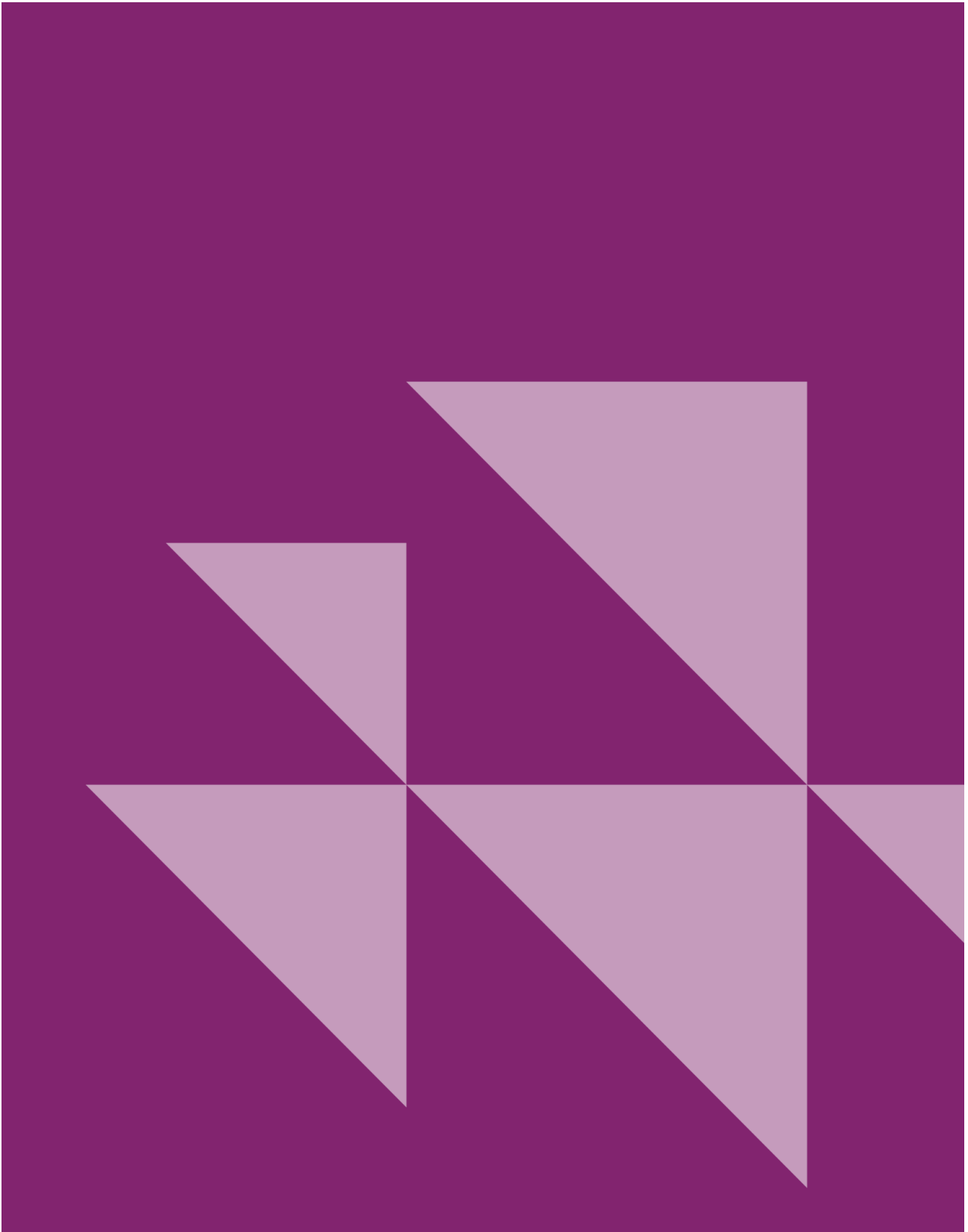


---

## CDP2022 サプライヤーエンゲージメント評価 イン트로ダクション

---

CDP 気候変動プログラム 2022



# 目次

## CDP サプライチェーンプログラムの サプライヤーエンゲージメント評価のご紹介

.....	3
<b>サプライヤーエンゲージメント評価基準</b> .....	<b>4</b>
ガバナンス.....	5
質問: C1.3, C1.3a 社員のパフォーマンス、C3.1 事業戦略への統合.....	5
背景・根拠: .....	5
スコアリング基準の概要: .....	5
目標.....	6
質問: C4.1; C4.1a; C4.1b; C4.2; C4.2b .....	6
背景・根拠: .....	6
スコアリング基準の概要: .....	6
スコープ 3 排出量.....	6
質問: C6.5 スコープ 3 排出量 .....	6
背景・根拠: .....	6
スコアリング基準の概要: .....	6
質問: C10.1 スコープ 3 排出量の検証 .....	6
背景・根拠: .....	7
スコアリング基準の概要: .....	7
サプライヤーとのエンゲージメント.....	7
質問: C12.1; C12.1a; サプライヤーとのエンゲージメント.....	7
背景・根拠: .....	7
スコアリング基準の概要: .....	7
CDP 気候変動質問書全体の回答評価 .....	7
質問: C1-C14.....	7
背景・根拠: .....	8
スコアリング基準の概要: .....	8
<b>サプライヤーエンゲージメント評価の結果公表</b> .....	<b>8</b>
主なスケジュール.....	8
<b>よくある質問 (FAQ)</b> .....	<b>9</b>
お問い合わせ .....	11

---

# CDP サプライチェーンプログラムの サプライヤーエンゲージメント評価のご紹介

---

購買組織・企業はサプライチェーンにおいて重要な環境変化をもたらすことのできる可能性があります。しかし、2021年時点で、CDP 気候変動質問書に回答した企業のうち、自社のサプライヤーと GHG 排出量や気候変動戦略に関してエンゲージメントしていると回答したのは 43%のみです。

サプライヤーとのエンゲージメントの取組みを評価し、ベストプラクティスを認めるシステムを構築することによって、CDP は購買組織・企業のエンゲージメントの動きを強化し、全世界のサプライチェーンにおける排出量に関する取組みを加速させることを目指しています。特に、企業がサプライヤーとのエンゲージメント戦略を開始する際に直面する以下の 2 つの重要な課題について、対応することを目指しています。

- 1. 企業は持続可能なサプライチェーン管理のベストプラクティスがどのようなものであるかわからない。**  
購買プロセスを見直し、購買の際に環境情報を統合するための戦略を策定するという膨大な作業は非常に困難である可能性があり、多くの企業は行動の基盤となるベストプラクティスを特定することに苦労しています。
- 2. 企業は気候変動に関するサプライヤーとのエンゲージメントに対して評価を得られないと考えている。** CDP の経験によると、企業は、自社の行動に対して評価を得る機会が与えられたときに業績が向上することが示されています。CDP は、企業のアクションと経営慣行の継続的な改善を支援するために、優れた業績を評価し、表彰します。

パイロットフェーズの導入期間が終了し、サプライヤーエンゲージメント評価のコンサルテーションに参加した全ての企業が、本評価によってサプライヤーとのエンゲージメント活動の向上に役立ったと考えていることがわかりました。さらに、半数以上がサプライヤーの気候変動に関するプロフィールを作成するためのツールとして活用していました。2022 年で CDP は、6 回目のサプライヤーエンゲージメント評価を発表します。

## サプライヤーエンゲージメント評価の対象企業

顧客企業や投資家の要請により CDP 気候変動質問書の完全版に回答した企業は、サプライヤーエンゲージメント評価の対象となります。ただし、規定された期日までに回答を提出、またはオンデマンドスコアリングの対象となっていない限りはなりません。2022 年に簡易版質問書に回答した企業はサプライヤーエンゲージメント評価を受けることはできません。

## サプライヤーエンゲージメント評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価は、CDP 気候変動質問書の 4 つの主要分野の質問（ガバナンス、目標、スコープ 3 管理、サプライヤーエンゲージメント）への回答に基づいて評価が行われます。具体的には、ガバナンス、目標、スコープ 3 排出量、スコープ 3 排出量（サプライヤーとのエンゲージメント）セクションの質問となります。さらに、CDP 気候変動質問書全体のスコアも、気候変動に関する企業の全体的なパフォーマンスの総合評価として考慮されます。フォレスト質問書や水セキュリティ質問書、サプライチェーン追加質問（気候変動／フォレスト／水セキュリティ）への回答内容は、評価の対象にはなりません。

**D より上の評価を得るためには、サプライヤーとエンゲージメントしていることを回答しなければいけません。（詳細については、スコープ 3 排出量：サプライヤーとのエンゲージメントをご覧ください。）**

各質問セクションへのポイントは、サプライヤーエンゲージメント評価の最終的な評価に以下のように反映されます。

スコアリングカテゴリー	サプライヤーエンゲージメント評価におけるウェイト
ガバナンス	20%
目標	15%
スコープ 3 排出量算定	20%
サプライヤーとのエンゲージメント	35%
CDP 気候変動質問書全体のスコア	10%

最終的なスコアの評価は、以下の閾値に従って、最終的なサプライチェーンエンゲージメント評価に換算されます。

サプライヤーエンゲージメント最終評価	閾値（しきいち）
A	76% - 100%
A-	66% - 75%
B	56% - 65%
B-	41% - 55%
C	26% - 40%
C-	16% - 25%
D	9% - 15%
D-	1% - 8%
F	0%

サプライヤーエンゲージメント評価で最高評価を得るためには、顧客企業または投資家からの回答要請に対して、回答内容を一般に公表する必要があります。CDP は最高評価を獲得した全ての企業について、CDP の回答に含まれるもの、または一般に公開されているものの中に、サプライヤーエンゲージメント評価のリーダーボードに掲載する企業としての適性を疑わせるものがないかを確認する権利を留保します。CDP のプログラムに関連する社会的、環境的テーマの報告年におけるデータをデータプロバイダーである RepRisk から提供を受け、レビューを行います。

主なセクションのスコアリング基準については、関連する質問内容と、根拠、採点基準の概要と共に以下に概説しています。CDP ウェブサイトのガイダンスページに、CDP2022 サプライヤーエンゲージメント評価手法の文書があり、採点基準の詳細や各質問の配点を掲載しています。

## ガバナンス

### 質問: C1.3, C1.3a 社員のパフォーマンス、C3.1 事業戦略への統合

- ▼ C1.3a 気候関連問題の管理に対して提供されるインセンティブについて具体的にお答えください。
- ▼ C3.1 貴社の事業戦略には、1.5°C シナリオへ向けた移行を支援する気候変動対策が組み込まれていますか？

#### 背景・根拠:

企業が従業員にサプライヤーとのエンゲージメントに対してインセンティブを提供しているかどうかは、サプライチェーンにおける気候変動管理の重要性をどのように位置づけているかの一つの指標です。

企業が気候変動に関する移行計画（気候移行計画）を策定することで、企業が調達の優先順位とサプライチェーンを長期的な気候目標に整合させ、ネットゼロ経済において、そのビジネスモデルが重要であり続けることを確実にします。

#### スコアリング基準の概要:

気候変動に関するサプライヤーとのエンゲージメントに関連したインセンティブの詳細報告について、ポイントが付与されます。金銭的なインセンティブに対しては満点が、その他のインセンティブに対しては部分点が、以下の基準に従って付与されます。

- ▼ バイヤー/購入者、または全ての従業員が、気候変動問題の管理についてのインセンティブを受ける対象である
- ▼ 最高調達責任者(CPO)または最高財務責任者(CFO)が、気候変動問題の管理についてのインセンティブを受ける対象である
- ▼ インセンティブ提供の基準として、調達やサプライチェーンエンゲージメントの際に環境評価基準を取り入れている

今後 2 年以内に移行計画を策定し、すでに 1.5°C シナリオに整合した移行計画を策定している場合、満点が付与されます。今後 2 年以内に移行計画を策定する予定がない場合、組織の戦略が気候変動関連のリスクと機会の影響を受けている場合は、部分点が付与されます。気候変動に関連するリスクや機会から影響を受けていない戦略には、得点は与えられません。

## 目標

### 質問: C4.1; C4.1a; C4.1b; C4.2; C4.2b

- ▼ C4.1a 貴社の排出量総量目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。
- ▼ C4.1b 貴社の排出原単位目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください
- ▼ C4.2b メタン削減目標を含む、貴社のその他の気候関連目標の詳細を教えてください。

### 背景・根拠:

サプライヤーエンゲージメント目標とともに、企業のサプライチェーン上流におけるスコープ 3 の排出削減目標を設定している企業は、サプライチェーンにおける排出量に対する重要性を認識していることを示しています。

### スコアリング基準の概要:

総量目標または原単位目標について、以下の通り回答している場合、得点が付与されます。

- ▼ SBTi で承認された総量と原単位目標の両方に得点が付与されます。または、CDP リーダーシップのスコアリング基準を満たす総量目標には得点が付与されます。
- ▼ 「スコープ 3：購入した製品およびサービス」に関する総量または原単位目標を回答している場合、得点が付与されます。
- ▼ その他の企業活動の上流のカテゴリについての総量または原単位目標を回答している場合、部分点が付与されます。
- ▼ 「サプライヤーとのエンゲージメント」における気候変動に関連する追加的な目標を回答している場合、得点が付与されます。

## スコープ 3 排出量

### 質問: C6.5 スコープ 3 排出量

- ▼ C6.5 貴社のスコープ 3 排出量について、除外項目を開示・説明も含めて回答してください。

### 背景・根拠:

企業のサプライチェーン上流におけるスコープ 3 排出量を回答することは、サプライチェーンにおける気候変動関連影響を測定する能力があることを示しています。

### スコアリング基準の概要:

スコープ 3 排出量（企業活動の上流）の各カテゴリについて評価し、回答したものについて得点が付与されます。この質問の評価基準は、以下の一点を除き、CDP 気候変動質問書のスコープ 3 排出量の採点基準と同様です。異なる点は、「購入した商品およびサービス」のカテゴリについて、「関連性あり、計算済み」を選択し、「メトリック CO2 換算」及び「排出量算定方法」の両方を回答している場合のみ、満点が付与されます。

### 質問: C10.1 スコープ 3 排出量の検証

- ▼ C10.1 スコープ 3 排出量について実施した検証・保証の詳細を回答し、関連する報告書を添付してください。

### 背景・根拠:

スコープ 3 データの第三者検証は、組織が正確なスコープ 3 排出量データを報告したことを示すものであり、組織のサプライチェーンにおける気候変動関連の影響を測定する能力に信頼性を示します。

### スコアリング基準の概要:

スコープ 3 の排出量について、第三者による検証、または保証プロセスがある場合は、得点が付与されます。第三者による検証や保証が行われていない場合、または排出量データが提供されていない場合は、得点は付与されません。

## サプライヤーとのエンゲージメント

### 質問: C12.1; C12.1a; サプライヤーとのエンゲージメント

- ▼ C12.1 気候関連問題に関してバリューチェーンでエンゲージメントしていますか？
- ▼ C12.1a 気候関連のサプライヤーエンゲージメント戦略の詳細を記入してください。

### 背景・根拠:

これらの質問を通して、企業はより深い文脈においてサプライヤーとのエンゲージメント戦略の完全性と影響を示すことができます。

### スコアリング基準の概要:

D より上の評価を受けるためには、C12.1 でサプライヤーとエンゲージメントしていることを示さなければなりません。サプライヤーとのエンゲージメントについて回答している場合、以下の通り得点が付与されます。

- ▼ 貴社がエンゲージメントしているサプライヤーの数と、そのサプライヤーが貴社の総支出またはスコープ 3 排出量に占める割合を回答している場合、得点が付与されます。
- ▼ サプライヤーエンゲージメント評価では、エンゲージメントの種類と、それに関連する支出またはスコープ 3 排出量の割合に基づき得点が付与されます。エンゲージメントの種類は、成熟度によって判断され、以下の表のとおり、支出に応じて得点が左右されます。

支出またはスコープ3排出量の割合	情報収集、または協働及びインセンティブ付与	技術革新および協力
0%	0/8	0/8
1-39% or 1-49%*	4/8	6/8
40-100% or 50-100%*	8/8	8/8

\* 1-49% と 50-100%のバンドスコアは、「情報収集」カテゴリーにのみ適用されます。

## CDP 気候変動質問書全体の回答評価

### 質問: C1-C14

## 背景・根拠:

気候変動による影響全体をしっかりと管理していることを示している企業は、サプライヤーとのエンゲージメントに際してもリーダーシップを取っているとと言えます。

## スコアリング基準の概要:

CDP 気候変動質問書のスコアに基づき、以下の通り得点が付与されます。

CDP スコア	A	A-	B	B-	C	C-	D	D-	F
得点	10/10	9/10	6/10	5/10	4/10	3/10	2/10	1/10	0

## サプライヤーエンゲージメント評価の結果公表

CDP2022 気候変動質問書完全版に回答した全ての企業がサプライヤーエンゲージメント評価を受け、2023年初旬にフィードバックを受けられます。

スコアは、CDP の他のスコアリングや評価システムと同様に、アルファベットで表示されます。CDP のポリシーに従い、この評価は一般には公開されず、回答企業と、その回答企業に回答要請を行った企業のみに開示されます\*。回答企業へのフィードバックは E メールで CDP より回答提出者に送付されます。

\*例外：サプライヤーエンゲージメント評価のリーダーシップ基準を満たした企業は、優秀企業として、CDP サプライチェーンレポート内で取り上げられます。優秀企業には、優秀企業用の CDP ロゴを含め、その評価をアピールするためのマテリアルが提供されます。

## 主なスケジュール

2022 年のサプライヤーエンゲージメント評価のスケジュールは以下の通りです。

内容	日程
CDP ウェブサイトにてサプライヤーエンゲージメント評価手法（英語版）を公表	2022 年 4 月
サプライヤーエンゲージメント評価の実施	2022 年 7 月～12 月
CDP サプライチェーンレポートと報告会において優秀企業の発表	2023 年初旬



---

## よくある質問 (FAQ)

---

### サプライヤーエンゲージメント評価 (SER) とは何ですか？

平均的に、企業活動の上流の排出量は、自社の直接排出量の 5.5 倍にあたりと試算されています。従って、企業はサプライチェーンに影響を及ぼすことによって、グローバルな排出削減に大きく寄与することができます。

サプライヤーエンゲージメント評価では、アルファベットでスコアを示し、どのように効果的に企業が気候変動に関してサプライヤーとエンゲージメントしているのかを評価します。(最新のレポートと 2021 年のサプライヤーエンゲージメント評価優秀企業のリストはウェブサイトでご覧いただけます。)

### どのようにサプライヤーエンゲージメント評価を算出しますか？

CDP 気候変動質問書の、ガバナンス、目標、スコープ 3 排出量、バリューチェーンとのエンゲージメントに関する質問に対する企業回答に基づき、サプライヤーとのエンゲージメント状況に関して評価を行います。CDP2022 サプライヤーエンゲージメント評価基準は、他のスコアリング基準と共に、CDP ウェブサイトのガイダンスページより入手可能です。

### サプライヤーエンゲージメント評価結果は公表されますか？

サプライヤーエンゲージメント評価結果は、A のスコアを獲得した場合を除き、非公表で、CDP ウェブサイトやレポートなどで公表されることはありません。スコアは回答企業にメールで通知され、ウェブサイト上の自社のコーポレートダッシュボードで表示されます。2022 年は、評価結果は回答要請のあった投資家には公表されませんが、顧客企業には共有されます。投資家要請に対して初めて回答する企業は、A のスコアを獲得した場合に優秀企業として公表されないことを選択することができます。

### サプライヤーエンゲージメント評価を受けるためには、別の質問書に回答する必要がありますか？

いいえ。CDP 気候変動質問書の、ガバナンス、目標、スコープ 3 排出量、バリューチェーンとのエンゲージメントに関する質問に対する企業回答に基づき、サプライヤーとのエンゲージメント状況に関して評価を行います。CDP2022 サプライヤーエンゲージメント評価基準は、CDP ウェブサイトのガイダンスページより入手可能です。

### サプライヤーエンゲージメント評価の対象となる企業はどの企業ですか？

CDP 気候変動質問書の完全版に回答した全ての企業に対して、気候変動スコアに加えてサプライヤーエンゲージメント評価を実施します。評価を受けるためには、回答期限内に回答を提出するか、オンデマンドスコアリングのサービスを購入してください。簡易版質問書に回答した企業は、評価の対象にはなりません。CDP サプライチェーンメンバーと、顧客企業の要請に基づき CDP サプライチェーン質問書に回答している企業は 2016 年からサプライヤーエンゲージメント評価を受けています。2019 年から、投資家の要請のみに基づき回答している企業にも評価対象を拡大しました。

### なぜ、投資家要請のみの企業にも評価対象を拡大したのですか？

サプライヤーエンゲージメント評価は、購買企業（CDP サプライチェーンメンバー）の要請によって、サプライヤーとのエンゲージメントのベストプラクティスをよりよく理解し、サプライヤーとのエンゲージメントがどのように効果的に次のサプライチェーンに引き継がれているかを可視化するために開始されました。従って、サプライヤーエンゲージメント評価は、当初は、CDP サプライチェーンメンバーと、顧客企業の要請によって回答している企業のみ適用されてきました。しかし、平均的に、企業活動の上流の排出量は、自社の直接排出量の 5.5 倍にあたりと試算されており、企業はサプライチェーンに影響を及ぼすことによって、グローバルな排出削減に大きく寄与することができることから、CDP 気候変動質問書に回答する全ての企業にとって有益な評価指標であると考えています。

### **自社のサプライヤーエンゲージメント評価結果はどこで入手できますか？**

サプライヤーエンゲージメント評価結果は CDP 気候変動質問書回答のメインユーザーに E メールで通知されます。また、コーポレートダッシュボードの「スコアと回答」欄にも表示されます。

### **いつサプライヤーエンゲージメント評価結果を入手できますか？**

2022 年の主なスケジュールは、CDP ウェブサイトにて確認ください。

### **サプライヤーエンゲージメント評価結果は投資家にも共有されますか？**

2022 年の回答に基づくサプライヤーエンゲージメント評価結果は投資家には共有されません。

### **サプライヤーエンゲージメント評価結果は顧客企業に共有されますか？**

回答要請のあった顧客企業（CDP サプライチェーンメンバー）に対して回答を提出した場合は、結果が共有されます。

### **どのようにサプライヤーエンゲージメント評価結果は活用されていますか？**

サプライチェーンメンバーは、サプライヤーとのエンゲージメントのベストプラクティスをよりよく理解し、サプライヤーとのエンゲージメントがどのように効果的に次のサプライチェーンに引き継がれているかを理解するためにこの評価を活用しています。回答企業は自社のサプライヤーとエンゲージメント活動がどの程度効果的であるかを理解することができます。A 評価を受けた企業は優秀企業として取り上げられ、ベストプラクティスがどのようなものであるかを示すことができます。

### **いつからサプライヤーエンゲージメント評価は実施されていますか？**

サプライヤーエンゲージメント評価は、2015 年の CDP サプライチェーン気候変動質問書（顧客企業の要請により回答する CDP 気候変動質問書）の回答に基づき、2016 年に導入されました。CDP サプライチェーンメンバーと、顧客からの要請に基づき回答した企業は、2016 年からサプライヤーエンゲージメント評価を受けています。2019 年から評価対象企業を、投資家のみからの要請で回答している企業にも拡大しました。

### **サプライヤーエンゲージメント評価は CDP 気候変動スコアに影響しますか？**

影響しません。

### **CDP 気候変動スコアはサプライヤーエンゲージメント評価に影響しますか。**

はい。CDP 気候変動スコアはサプライヤーエンゲージメント評価基準の一つです。詳細については CDP2022 サプライヤーエンゲージメント評価手法をご覧ください。

## 回答企業はどのようにサプライヤーエンゲージメント評価のフィードバックを受けられますか？

サプライヤーエンゲージメント評価のフィードバックチャートはダッシュボード上から閲覧可能です。（ただし、2019年以前に投資家要請のみに回答していた企業には表示されていません。）

## CDP 気候変動スコアリング基準において、バリューチェーン協働カテゴリのスコアと異なる形でサプライヤーエンゲージメント評価を実施するのはなぜですか？

CDP 気候変動スコアとそのカテゴリ別スコアは、サプライヤーエンゲージメント評価と比較可能なものではありません。CDP 気候変動スコアのバリューチェーンとのエンゲージメントセクションのスコアは、質問 C12 の回答のみに基づいており、バリューチェーンの「上流」と「下流」両方のエンゲージメントの活動にフォーカスしたものです。サプライヤーエンゲージメント評価では、質問 C12 以外だけでなく、ガバナンスや CDP スコアなどを考慮して、バリューチェーンの上流のみにフォーカスしています。この違いはそれぞれのスコアの目的が異なるためです。

バリューチェーンとのエンゲージメントセクションのカテゴリスコアは、CDP 気候変動回答評価の多岐にわたる分野の一部で、「上流」「下流」のバリューチェーン戦略に特化しています。気候変動管理の全体的なアプローチに関して、ステークホルダーが活用し、企業をベンチマークするための幅広い指標の一部です。

しかし、サプライヤーエンゲージメント評価は、サプライヤーとのエンゲージメントに関するリーダーシップ企業をハイライトし、企業が自社のサプライチェーンへの波及的なアクションの効果をベンチマークできるようにするために開発され、効果的にこの取り組みを波及させるためには企業の気候変動に対するアプローチを幅広く要素に入れる必要があります。

CDP 気候変動スコアはサプライヤーとのエンゲージメントの達成状況を示すスコアを提供しているわけではなく、平均して直接排出量の 5.5 倍以上になるサプライチェーン排出量に対応しようとしている企業取組みを理解できるわけではないため、サプライヤーエンゲージメント評価として別の評価を実施しています。

サプライヤーエンゲージメント評価手法は、CDP 気候変動評価手法と比べるとまだ成熟しておらず、多くの企業がまだ直接事業の範囲を超えて必要なアクションをとっているとは言えないため、サプライヤーエンゲージメント評価のリーダー企業の特定は、よりシンプルなものになっています。しかし、他の CDP のスコアリング基準のように、今後データユーザーの要望がある場合や、企業行動を適切なものに変化させるために、サプライヤーエンゲージメント評価基準を修正し、より強化していく計画です。

## お問い合わせ

サプライヤーエンゲージメント評価に関するご質問は以下までお問合せください。

英語：[respond@cdp.net](mailto:respond@cdp.net)

日本語：[japan@cdp.net](mailto:japan@cdp.net)